

# 部門展示室（民俗）リニューアル「雪国の暮らしとものづくり」

人々の暮らしに関わる身近な文化を紹介してきた部門展示室（民俗）が、装いを新たに生まれ変わりました。

展示室に一步足を踏み入ると、そこには雪国が広がります。大型スクリーンに映し出される奥会津の自然やそこに生きる人々の営みが、みる人を雪国へと誘います。厳しい雪に対抗するために工夫された道具。限りある自然素材を利用した編み組細工…。厳しくも豊かな奥会津を生き抜くための知恵が詰まった資料の数々を、映像や模型を組み込んだ新しい展示空間の中をご覧ください。

## \*雪国の民家模型および積雪スケールの製作



会津の雪深さを知っていただくため、冬季の民家の模型と、各地域での積雪量を示したスケールを製作。圧倒的な積雪量を体感することができます。

## \*食品レプリカの制作



こづゆ、鯉の山椒漬けなど、会津で育まれた食文化を食品レプリカでご紹介しています。

## \*新規照明（高指向性LED）の導入 演出効果を高める展示台（黒色）の製作



黒色の展示台の上の資料にスポットライトのような照明を当てることで、より美しく印象的な展示を目指しました。

## \*巨大スクリーンへの映像投影



約 20mの巨大スクリーンに、松尾高弘氏（LUCENT）による空間映像作品「Snow and Lights」を投影。会津の四季、雪景色、学芸員の解説、サイノカミ行事の映像が映し出され、光と音の空間に包まれることによって、雪国会津の自然や文化、空気感を感じることができます。また、巨大スクリーンに浮かび上がる様々な情景や語り、展示資料と響きあうことで、その背景にある世界観へと鑑賞者を誘います。

# 部門展示室（民俗）空間映像作品「Snow and Lights」 松尾高弘（LUCENT）

雪国・会津の暮らしとものづくりをテーマに、知識や情報を伝達だけでなく、空気感まで感じることができるよう意図して制作された空間映像作品。

風土を表現するというこの意味は、その土地でしか作りえないものを見つけ、それに向き合うことだと、私は常々思っています。今回の作品“Snow and Lights”では、雪国会津の自然やものづくり文化を表現するため、独自の造形美あふれる圧巻の雪景色や、長い時間をかけて土地の方々が育んできたものづくりの風景を、大スクリーンによる空間作りのための重要な要素として取り入れました。

映像による資料解説や学芸員インタビュー動画、効果音やプロジェクションマッピング、そして、没入型映像空間の創出など、使用している個別の手法そのものは今や目新しいものではありません。しかしながら、それらを最適化して展示資料と調和させ、全体として有機的に融合させることにより、ダイナミックな統合型展示空間に昇華させた例は他にはまだ存在せず、福島県立博物館ならではの展示になったのではと考えています。

実物としての展示資料と、音響や視覚体験を通じてその背景に浮かびあがる「光景」がひとつに溶けあうことにより、知識や情報の伝達のみにとどまらず、雪国会津の自然の手触り、歴史や文化の厚み、風土そのものを体感いただくことができれば幸いです。

松尾高弘（LUCENT）

## 松尾高弘 / Takahiro Matsuo

アーティスト 株式会社ルーセントデザイン代表 EMISSION ディレクター

1979 年生まれ、福岡県出身。九州芸術工科大学大学院修了。映像、照明、オブジェクト、インタラクションと、美的表現による光のインスタレーションを中心に、自ら制作する映像やライティング、プログラミングなど、多彩な表現やテクノロジーによるアートワークを一貫して手がける。

自然界の現象と法則性、イマジネーションによる繊細な光の表現とエモーショナルな作品群によって、都市や商空間のパブリックアート、世界各国のエキシビション、ラグジュアリーブランドのためのアートワークなど、国際的に幅広く展開している。

世界 16 カ国以上でのアート展示、パブリックスペースのインスタレーションや商空間、ラグジュアリーブランドのためのアート、インタラクティブアート、ライティングアート、ライティングオブジェクト、プロジェクションによる映像空間など。

2021 年より、“Light Crystallized = 光の結晶化”をコンセプトとするブランド+アートスタジオ EMISSION を立ち上げる。プリズムアートによるインスタレーションやインテリアアート、プロダクトなどを手がける。

## 会津の四季の写真撮影

岩波友紀 / Yuki Iwanami

写真家

